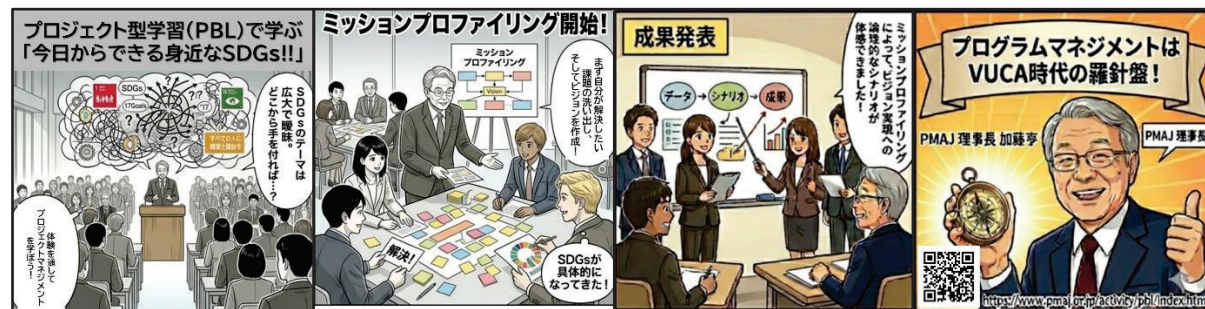


## 場の提供

プログラムマネジメントやプロジェクトマネジメントの基礎知識を学びたい方、過去に学んだPM知識を要領よく復習したい方、実践力を向上させたい方にも、ふさわしい講習会です。

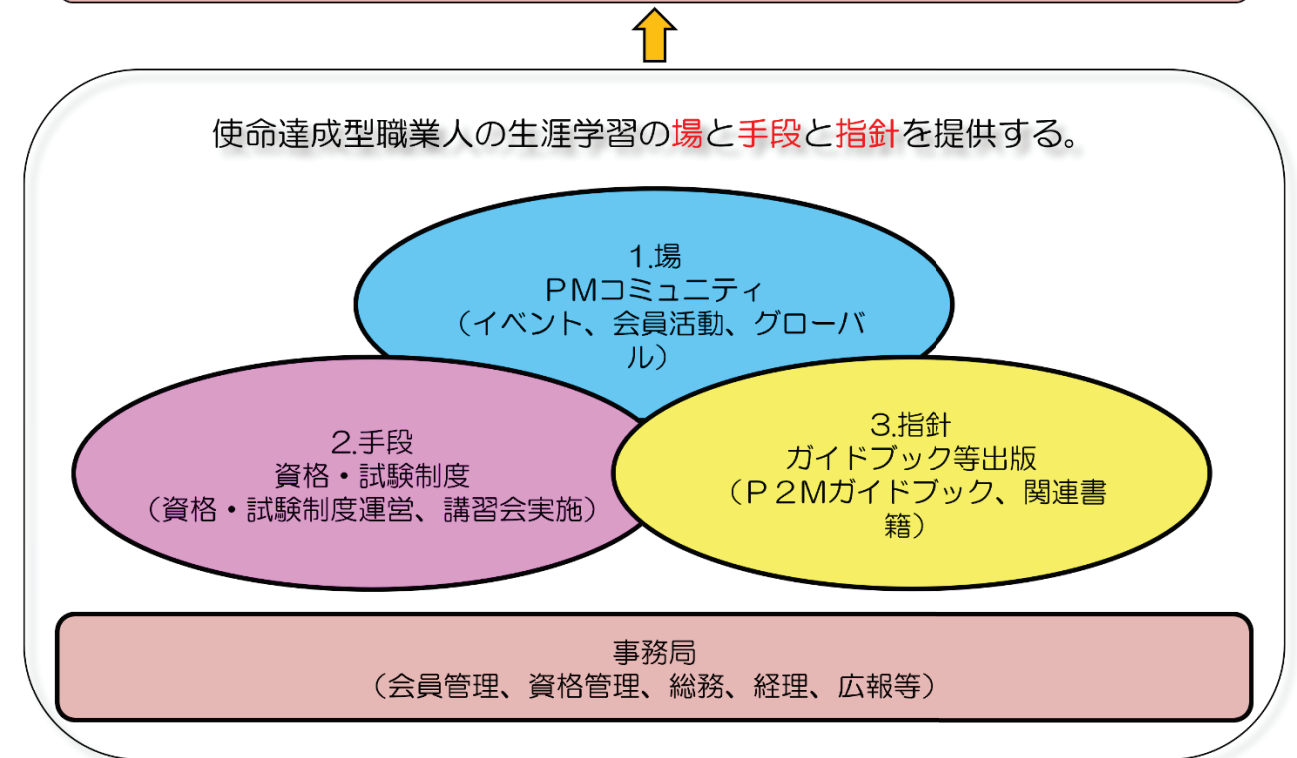
P2M 講習会等の開催			
	講習会等名称	内容と特徴	開催頻度
1	PMC講習会 (4日間コース)	<ul style="list-style-type: none"> <li>プロジェクトマネジメント(PM)に必要なコア知識の習得。</li> <li>本講習会修了者は、PMC資格の受験資格を取得。</li> <li>e-ラーニングのコースも用意。企業研修も提供します。</li> </ul>	・年6回開催
2	PMSプログラム 試験対策講座 (2日間コース)	<ul style="list-style-type: none"> <li>P2Mに基づくプログラムマネジメントの重要ポイントを効率的に学ぶPMS試験対策講座です。</li> <li>PDU受講証明証を発行します。</li> </ul>	・年6回開催
3	PMQ養成研修 (半日コース)	<ul style="list-style-type: none"> <li>PMQ資格試験の対策講座です。</li> <li>過去問をベースに標準解答を解説します。</li> <li>プログラムマネジャーとしての自己の適性確認やキャリア形成に役立つ講座です。</li> </ul>	・年1回開催
4	PMR養成研修 (半日コース)	<ul style="list-style-type: none"> <li>PMR資格試験の試験対策講座です。</li> <li>過去問をベースに標準解答を解説します。</li> <li>全体を俯瞰した視点(長期的・全体最適)の判断が求められる経営層や幹部候補にお勧めの講座です。</li> </ul>	・年1回開催
5	企業・官公庁地方自治体・大学院・大学・工業高専向けカ スタムメイド研修	<ul style="list-style-type: none"> <li>企業内個別研修(含むワークショップ)</li> <li>研修・講義、講演、ワークショップ</li> <li>P2M利活用相談・助言・支援・指導</li> </ul> (詳細は、お問い合わせください)	・随時



# 特定非営利活動法人 日本プロジェクトマネジメント協会

Project Management Association of Japan (PMAJ)

PMAJビジョン：価値共創のプログラム・プロジェクトマネジメントの普及を通して活力ある社会の醸成に貢献する。



以下にPMAJの主要な研修・講習会・資格試験、支援活動の具体例を紹介します。

項目	お役に立つ主要活動	本紙の参照項
I プロジェクトマネジメントの先進的活動	(1) 「第14版プログラム&プロジェクトマネジメント標準ガイドブック(以下P2M)」の発行、2024年9月3日初版発行 (2) 「P2M」に基づく研修会・講習会・ワークショップの開催 (3) 「PMシンポジウム」2026年9月3日(木)・4日(金) タワーホール船堀 前年1,259名参加 (4) 「新しい教養 P2Mセミナー」2026年11月13日(木) タワーホール船堀 前年77名参加 (5) 「関西PMセミナー」2026年6月5日(金) マイドームおおさか 前年100名参加 (6) 「新春PMセミナー」2027年1月23日(金) タワーホール船堀 前年519名参加	P2M要点；活動例1  研修会・講習会；活動例3  PMシンポジウム、新春PMセミナー、関西P2Mセミナー、札幌、仙台、名古屋、広島、福岡、那覇にてセミナー・交流会提供；活動例2《P2M普及・研究 交流の場》
II プロジェクトマネジメントの普及と貢献	(1) P2M資格試験の実施、資格取得者認定・登録の実施 (2) P2Mの資格試験に対応した研修会・講習会開催	活動例2、活動例3
III 会員による活発な自主活動	(1) 全国7地区の「地域P2M研究部会」開催 (2) P2M利活用事例の情報交換、研究、研修等の実施 (3) 世界の有力PM協会や大学院との交流、講師派遣	活動例2《P2M普及・研究 交流の場》

※「P2M」「PMAJ」は、日本プロジェクトマネジメント協会の登録商標です。



特定非営利活動法人 日本プロジェクトマネジメント協会

Project Management Association of Japan (PMAJ)

〒106-0044 東京都港区東麻布一丁目5番2号 ザイマックス東麻布ビル7階

TEL: 03-6234-0551 (代表) FAX: 03-6234-0553

http://www.pmaj.or.jp/ E-mail: [admi@pmaj.or.jp](mailto:admi@pmaj.or.jp)

## 指針の提供

# 「改訂 4 版プログラム&プロジェクトマネジメント (P2M) 標準ガイドブック」



### 《本書の目次》

- 第1部 P2Mの概要と特徴
  - ・P2M事業モデル、P2Mプリンシプル 他
- 第2部 プログラムマネジメント
  - ・プログラム、プログラム統合 他
- 第3部 プロジェクトマネジメント
  - ・プロジェクトとプロジェクトマネジメント 他
- 第4部 事業戦略
  - ・事業戦略とプログラム、プログラム戦略手法 他
- 第5部 事業経営基盤
  - ・知識・情報資産、価値と価値評価 他

### 《改訂 4 版の特徴》

- ① イノベーションの実現をモデル化  
P2M事業モデル、P2Mプリンシプル「7Keys」
- ② 新しい潮流を反映し加筆  
アジャイル、デザイン思考など
- ③ わかりやすく記述を刷新  
プログラムマネジメントを大改訂  
事例を用いた解説

日本プロジェクトマネジメント協会編著  
日本能率協会マネジメントセンター発行

A5版 744頁  
定価：本体 4,200円＋税  
購入先：全国各書店及び Amazon 等

### 《冊子：P2Mの葉》



- ① P2Mプリンシプル  
P2M 7Keys プログラム・プロジェクト成功の7つの鍵
- ② P2Mとは何か？  
オペレーション型プログラムと戦略型プログラム  
P2M事業モデルの構成要素  
P2Mプログラムマネジメントが期待するところ
- ③ プログラムマネジメント  
プログラム基盤  
(ミッション、価値、アーキテクチャー、コミュニティ)  
プログラム統合  
(ミッションプロファイリングとプログラムデザイン)  
プログラム戦略マネジメント  
(目標、価値評価、リスク、関係性のマネジメント)
- ④ プロジェクトマネジメント  
マネジメントの流れをプロセスベースでの記述  
アジャイルプロジェクトマネジメント
- ⑤ 事業戦略  
事業戦略とプログラム、プログラム戦略手法
- ⑥ 事業経営基盤  
(チェンジアジリティ、タクソノミー、形式知と暗黙知、システムズアプローチ、デザイン思考、情報マネジメント)

日本プロジェクトマネジメント協会編

A4版 8頁  
PMAJ ホームページからダウンロード

## 手段の提供

### 《資格制度と試験》

ロゴ	略称	資格名称 (和名/英語名)	資格要件
—	PMCe	プロジェクトマネジメント・コーディネータ・エントリー Project Management Coordinator Entry	大学院/大学/高専にて、協会認定のプロジェクトマネジメント講座受講
	PMC	プロジェクトマネジメント・コーディネータ Project Management Coordinator	P2Mにおけるプロジェクトマネジメントの知識を修得
	PMS	プロジェクトマネジメント・スペシャリスト Project Management Specialist	プログラムマネジメントを含む P2M 全般知識を修得
	PMQ	プログラムマネジャー・クオリファイド Program Manager Qualified	企業内で事業の拡大、高度化、効率化などのプログラムを統合管理できる人材
	PMR	プログラムマネジャー・レジスタード Program Manager Registered	企業の枠を超えて新規性、創造性のあるプログラムを創出できる人材

資格試験と実施回数	出題形式	出題範囲	受験資格
PMC資格試験 年6回実施	CBT試験 50問、四肢択一 (75分)	改訂4版P2M標準ガイドブックに記載のプロジェクトマネジメントに関する知識	PMC講習会修了者 PMCe資格者
PMSプログラム試験 年3回実施	CBT試験 50問、四肢択一 (75分)	改訂4版P2M標準ガイドブックに記載のプログラムマネジメントに関する知識	PMC 資格者 PM 関連資格保有者 (注)
PMS資格試験 年3回実施	CBT試験 100問、四肢択一 (150分)	改訂4版P2M標準ガイドブックに記載のプログラムおよびプロジェクトマネジメントに関する知識	どなたでも受験可能
PMQ資格試験 年1回実施	CBT試験 4問 論述 (180分)	企業内のオペレーション型プログラムに関する実践力	PMS 資格者 3年以上のPM実務経験者
PMR資格試験 年1回実施	モジュール試験 2モジュール、面談 (2日間)	企業を超えた戦略型プログラムに関する実践力	PMQ 資格者 3年以上のPM実務経験者

※CBT 試験：受験予約～試験実施をコンピューターで実施。希望日時に全国 270 会場で受験。(Computer Based Testing)  
(注) PM 関連資格保有者 以下の資格を保有する方は、PMC 資格者と同等と見做します。  
中小企業診断士/技術士総合技術監理/コンストラクション・マネジャー(CM)/  
IT コーディネータ(ITC)/ 高度情報処理技術者(プロジェクトマネージャ)/PMP®

## 場の提供

### 《P2M 普及・研究 交流の場》

P2M 普及・研究	交流の場等
例会/地域P2M研究部会	東京、大阪、仙台、名古屋、広島、福岡、那覇 各地にて実施
「新しい教養 P2Mセミナー2026」	日時：2026.11.13(金) 場所：タワーホール船堀
「新春PMセミナー2027」	日時：2027.1.29(金) 場所：タワーホール船堀
「PMシンポジウム2026」	日時：2026.9.3(木)・4(金) 場所：タワーホール船堀
SIG活動 会員が自主的に行う研究会活動	WTech、組織アジリティ、ロードマッピング、グローバルPM、チェンジマネジメント、新規事業プログラムマネジメント、PMDX-AWP、PMノウハウ継承研究会、博士人材と指導教員の醸成、P2M標準ガイドブック改訂4版を学ぶ、AIエージェント活用PM
会員・資格者向けの交流の場	・P2Mクラブ・Advanced PMRクラブ (PMR資格者)
国際交流	・PMI®、IPMA®、GAPPS、APFPM、KPMAなど海外PM団体との交流 ・P2M研修 海外15か国 ・P2M講座 海外25大学